

[長崎市理財部資産経営室からのお知らせです。]

公共施設の将来のあり方を考える市民対話《日吉・茂木・南地区》

❀ 第2回 開催報告 ❀

ご参加いただいた皆さま
ありがとうございました。

日時 平成31年1月18日(金) 19:00~20:30

場所 茂木地区公民館

参加者 地域の皆さん 14人



1 第2回までに話し合ってきた内容

第1回

(12/14)

- ①長崎市の**公共施設の現状**（利用状況や老朽化の状況など）や**見直しの必要性**についてご説明しました。
- ②日吉・茂木・南地区の将来を考えるうえで、**地区内にある施設の課題や問題点等**について話し合いました。



第2回

(1/18)

- ①公共施設の種類ごとに**市全体の公共施設の配置の考え方**と、市が考える日吉・茂木・南地区にある**施設の将来の配置の考え方**をご説明しました。
- ②**施設の配置の考え方**に対して、グループごとに**課題やアイデア**を出し合いました。
- ③皆さんからご質問・ご意見を頂く形で、**意見交換**を行いました。

2 公共施設の配置の考え方（市からの説明）

自主学習・研修施設



日吉自然の家

少年の健全育成と市民の生涯学習の振興を図るため、宿泊体験学習の機能を維持しつつ、市民向けの体験学習の施設として充実させていくこととしています。

- ❀日吉自然の家については、市全域を対象とした宿泊体験学習を行う施設として、現在の施設を引き続き適切に管理していきたいと考えています。

レクリエーション施設



体験の森

長崎市の豊かな自然を活用して多くの人を地域に呼び込み、市全体や地域の活性化につなげるものとして設置しています。
体験型施設は、現状の利用状況から将来の利用の増加が見込める施設や機能は存続することとしますが、それ以外は、用途を廃止する考えです。

- ❀体験の森は、森林に親しみ、自然を体験できる場として、市民の森の中に設置されています。森林体験学習施設などの自然を身近に体験できる幼児及び児童の教育的な施設については、今後も一定の利用が見込めることから、現在の施設を適正に管理していきます。老朽化が進んでいる宿泊用のケビンについては、今後建替える予定はありません。

水産業振興施設

クルマエビ
幼稚仔
保育場



- ❀クルマエビの稚エビの中間育成を行う保育場です。
稚エビの中間育成が、水産センターで可能となったことから現在活用していない状況です。当初のニーズはなくなったことから、用途を廃止し、施設の活用については、関係者の皆様と検討を行いたいと考えています。

2 公共施設の配置の考え方（つづき）

コミュニティ活動施設



地域の皆さんが身近にふれあい、さまざまな活動を行っていく場所として、気軽に立ち寄ることができる地域コミュニティ活動の場はこれからも必要です。今後は、ふれあいセンターや地区公民館などに加え、特定年齢層を利用対象とした老人憩の家や児童館・児童センターなどの施設も、将来的に、多世代が利用できる施設へ利用方法や機能を見直し、身近な場所で、地域の子どもから高齢者までの多世代が活動する場を維持していきます。



- 地域の皆さんが最も身近な場所で、地域の話し合いなど、さまざまな地域活動に利用する地域コミュニティの活動拠点は、概ね小学校区の範囲への配置を考えています。
- 市の既存施設の活用に限らず、民間施設の活用も含めた方法で、場の確保を考えています。



- 小学校区を超えるような多数の参加人数が見込まれる活動や行事などのため、小学校区の施設よりも広いスペースなどを備えた施設については、小学校区に配置する施設を兼ねる形で、普段の生活に必要なサービスを提供することができる、概ね中学校区への配置を考えています。



- 中学校区を超えた大規模な催しや講座等に対応できる、中学校区に配置する施設よりも広いスペースや、ホールなど特定の設備を備えた広域的利用施設は、長崎市の都市計画上の地域拠点または交通の便の良い場所への配置を考えています。



- 市域全体から利用される施設は、交通の便のよい都心部及び都心周辺部に配置する考えです。

茂木地区公民館



❖地域の皆さんのコミュニティ活動に利用できる施設として、現在の施設をこれからも活用していただきたいと考えています。

老人福祉センター
わかな荘



❖集会室や娛樂室があり、コミュニティ活動のために使える機能を持っていますが、現在は60歳以上の方しか利用できません。将来的には、その時の利用状況を踏まえながら、子どもから高齢者まで多世代が交流できるような施設の使い方を検討していく必要があると考えています。

学校

学校の適正配置については、教育委員会が地域と協議させていただいています。



日吉小学校



茂木小学校



南小学校



日吉中学校



茂木中学校



南中学校

第1回対話 主なご意見

- 学校の空き教室を活用できないか。
- 統廃合の対象となっている学校は、有効活用について、今から考えておかないといけないのでは。

第2回対話 市からの答え

- 転用可能教室の活用には、管理や安全などの課題の解決が必要で、そのため大規模な改修が必要になることもあります。課題を解決し、学校運営に問題がなければ、学校の活用についても検討していきます。
- 統廃合後の学校跡地の活用については、地元の皆様と教育委員会との協議の進捗をみながら、跡地についてのお話ができる状態になれば、地元の意見もお聞きしながら最もよい活用のあり方を考えて参ります。

放課後児童クラブ



わかなキッズ
クラブ(茂木小)

子どもたちの放課後等における安全・安心な居場所の確保を図るため、小学校区ごとに配置されています。基本的には、小学校の適正配置と合わせて、事業者へクラブの運営の統合を働きかけていきます。

❖この地区内では、わかなキッズクラブが茂木小学校の建物を利用しています。

港湾施設

航路利用者に必要不可欠であるため、航路が存続する限り継続して配置します。

茂木港
船客待合所



❖茂木港船客待合所は、切符売場や待合所、トイレなどの、ターミナルとしての機能は満たされており、現在の施設を引き続きご利用いただきたいと考えています。

第1回対話 主な「意見」

- 面積が狭い。増築や建替えができないだろうか。
- 物販店の営業が昼の2時頃には終わるので、営業後に地域のコミュニティで活用できないか。

第2回対話 市からの答え

- 茂木港ターミナルは築38年でまだ十分利用可能であり、必要な改修を行いながら使用していきます。施設規模も、港湾施設としてのサービスを提供できるだけの広さが備わっていると考えています。
- 物販店は、ターミナルの機能を妨げない範囲で、地元の皆さんにお使いいただいています。コミュニティで使う場合は、どのような活用のアイデアをお持ちなのかお聞かせいただければと思っております。活用のアイデアをもう少し具体化して、関係者と話し合いの場をもつことができるよう、市もご協力していきたいと考えています。

市営住宅



茂木住宅

今後、人口・世帯数が減少し、民間の空き家も増加するため、市営住宅の需要は減少すると予想されます。そのため、セーフティネットとしての役割を担いながら、将来的には市全体の市営住宅の総戸数を減らしていく方針です。

今後、建て替える際は、できるだけ集約化して効率的な維持管理ができるようにし、配置は、市内各エリアにおける特性を十分勘案して、見直します。

❖茂木住宅は、現在の建物を適正に管理し、大規模な改修や建替えが必要となるタイミングで、人口などの状況を踏まえ、規模の検討を行います。

庁舎



茂木地域センター

身近な手続きや相談ができ、地域のまちづくりを支援する機能は、引き続き必要と考えています。

❖茂木地域センターについては、現在の施設を引き続き、適正に管理していきます。

消防施設



中央消防署
茂木出張所

消防体制の見直しを図りながら、効率的な適正配置により、将来にわたり市民が安全安心に暮らせるようサービスの提供を行っていくこととしています。

❖茂木出張所については、現在の施設を引き続き、適正に管理していきます。

公園



公園には、「防災や避難等災害に対応できる機能の確保」、「複合遊具等を活用した魅力的な子どもの遊び場の創出」、「スポーツ施設等での利用」、「健康づくりのための機能の導入」など、多様なニーズへの対応が求められます。

市内における都市公園の市民1人当たりの標準面積は10平方メートル以上、市街地の市民1人当たりの標準面積は5平方メートル以上とし、都市公園の種類や目的及び誘致距離を勘案し、配置の均衡をります。

❖この地区には街区公園が10ヶ所あります。基本的には現状を維持することとし、公園再整備の際には、社会状況の変化を踏まえながら公園毎の施設のあり方や機能分担、統廃合等の検討を行い、利用者のニーズに合った整備を進めていきたいと考えています。

3 グループワーク

市民対話では、長崎市で考えた日吉・茂木・南地区の公共施設の配置の考え方について話し合ってもらい、課題やアイデア等のとりまとめを行っていただきました。



4 意見交換 ※参加者の皆さんからのご意見・ご質問と市からの回答の主なものです。

○公共施設までの移動手段の考え方

日吉自然の家などを活用したくても、高齢者は容易に行くことができない。

基本的には、地域の方が主にご利用になる施設は身近な場所への配置を、全市民の方がご利用になる施設は公共交通網を考え各地から来やすい場所への配置を考えています。

ただし、なかには自然環境等の特殊性から、交通網が十分でない場所に配置せざるを得ない施設もございます。ご理解をお願いします。

○地区公民館のふれあいセンター化について

地区公民館のふれあいセンター化のメリット、デメリットを知りたい。

施設の管理運営を地域住民で行うことができるようになるため、地域のニーズにあった運営ができるようになります。

一方、社会教育指導員の配置がなくなりますが、市で講座の企画支援は行っていく予定です。

【講評】（般財団法人建築保全センター 池澤龍三氏）

- こうやって皆さんで意見を出し合うことが市民対話の大きな目的でありましたし、全てがかなうことがないにしても、皆さんのご意見は、市の職員に受け止めていただいているはずですよ。
- ターミナルの活用の話については、各班共通の話題としてあがっておりましたが、継続して課題を解決してもらいたいと思います。



○コミュニティ施設の配置の考え方

自治会単位、又は複数自治会単位ぐらいで、集まる場所があったほうがよい。

長崎市全体で多くの自治会があり、その全てに市が施設を建てることはできません。

一方、身近な場所で地域の皆さんがコミュニティ活動のために集まる場はこれからも必要と考えています。

このコミュニティの活動拠点は、概ね小学校区の単位ぐらいでの配置を考えており、市の既存施設や民間施設の活用を含め対応したいと考えております。

○その他のご意見

公共施設の将来のあり方を考える前に、人口減少社会のなか、まずは人口増対策、産業誘致、道路整備が必要なのでは。

長崎市では、人口減少・少子高齢化が進むなか、これからも暮らしやすいまちであり続けるため、経済の活性化、まちなかでの賑わいの創出、及び行政の体制・サービスの見直しなどに重点的に取り組んでいます。

人口増につながる施策を進めることとあわせて、将来を見据えた公共施設の見直しについて、皆さんと一緒に考える場が必要ということで、今回の市民対話を開催しました。



5 今後の流れ

市民対話(全2回)



ご意見・ご提案

地区別計画案の策定



皆さんからのご意見・ご提案を参考に市でとりまとめ

公共施設の地区別計画(案)を策定しましたら、日吉・茂木・南地区の皆さんへ改めてお知らせいたします。
たくさんのご意見・ご提案をありがとうございました。



◆お問い合わせ：長崎市理財部資産経営室（☎直通：095-829-1412）